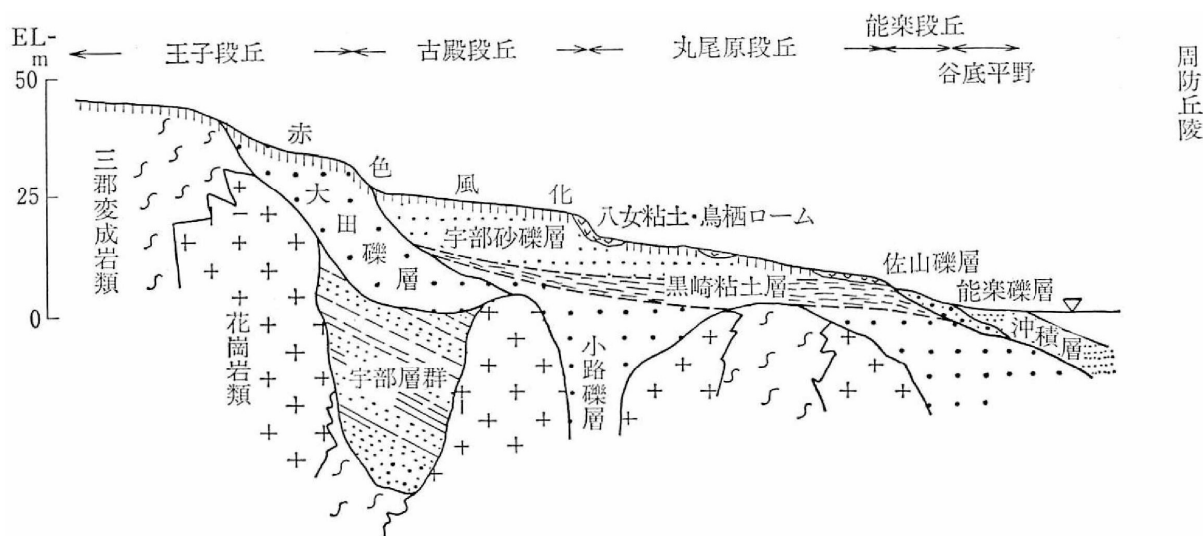


## 地形・地質

周防丘陵は開析が著しいですが、海岸付近で瀬戸内面に相当する平坦面がみられます。また洪積段丘も発達し、3段に区分され、ほかに沖積平野に埋没する能楽段丘が分布しています。これらはそれぞれ砂礫層をもっています。

## 地下水

周防丘陵の帯水層は更新世の吉南層・大田礫層と古第三紀の宇部層群で、吉南層には一部に自噴帯があります。



周防丘陵丸尾付近の模式地質断面図

## 周防丘陵周辺の層序表

地質時代		地層名	模式柱状図	地形面
第 四 紀	完新世	沖積層(4~10m)		谷底平野
	更	能楽礫層(1.5m+)		能楽段丘
		トスローム(0.5~1.5m)		
		八女粘土(数cm)		
	新	佐山礫層(1m)		丸尾原段丘
		吉 南 層	宇部砂礫層(4~8m)	
	黒崎粘土層(10m)			
	小路礫層(45m)			
	紀 世	大田礫層(20m)		王子段丘
		古第三紀	宇部層群 (10~25m) 岐波累層, 厚東川礫岩層	
先第三紀	基盤岩類 花崗岩類			
	蛇紋岩類			
	三郡変成岩類			

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）